

## 第2章 協働を進めるために

協働を進めるにあたって、あま市みんなでまちづくりパートナーシップ条例に規定されている基本理念（第3条）に基づいて、それぞれの役割と特性を理解することが重要です。

### ❖ 1. 基本姿勢

協働を推進していくために、次のような姿勢で取り組みましょう。

	対象者	姿勢
市民	市内に居住し、通勤し、又は通学する者及びまちづくりに関わる者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分たちでできることは自分たちの手で」という意識を持ち、できる範囲から始める。</li> <li>・個人の想いで終わるのではなく、「地域の力」へと発展させていく姿勢を持つ。</li> </ul>
地域組織	区、町内会、コミュニティその他の地域で生活することを縁として活動を行う組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分たちの地域は自分たちの手で」という自治の精神と、「お互いさま」という相互扶助の精神を持つ。</li> <li>・地域に根ざした市民活動に対する理解と支援を促す姿勢を持つ。</li> </ul>
市民活動団体	営利を目的とせず、公益的な活動を自主的に行う組織（その活動が宗教的活動又は政治的活動に該当するものを除く）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実現性を十分に考慮した上で行動するよう心がける。</li> <li>・それぞれの主体において、様々な制約があり、ルールに沿って動いているということを理解する。</li> <li>・協働は、「共に力を合わせて共通の目的に向かって活動すること」であり、行政に頼り切ってしまうないように心がける。</li> </ul>
事業者	市内で事業を営む個人、法人その他団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の一員としての自覚を持ち、市民活動に対する理解促進に努める。</li> <li>・市民活動への積極的な参画に努める。</li> </ul>
行政	市、学校 市民活動センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の声に耳を傾け、共により良いまちづくりを推し進める。</li> <li>・市民と積極的かつ建設的な対話を通して、対等な立場で相互理解を促進し、信頼関係を築く。</li> <li>・前例にとらわれず、柔軟に行政の有するリソース（人材、場所、資材、資金、情報等）の活用方法を検討する。</li> </ul>

## ❖ 2. 基本原則

次の5つの原則を、市民、地域組織、市民活動団体、事業者及び行政の立場で協働に関わるすべての人が大切にすることで、よりよいパートナーシップを築くことができます。

### 目的・目標の共有

何を目指して協働するのか、互いに思いを語り、共通の目的・目標を見出しましょう。それが協働の第一歩です。

### 補完性

活動における各々の「役割」と「責任」を確認しましょう。得意を活かして互いに補完し合えるのが協働の大きな意義です。

### 相互理解

各々の「立場」や「特性」を理解し、尊重しましょう。違いを大切にする姿勢が、強い信頼関係につながります。

### 対等性

互いに主体性と自立性を持って、対等なパートナーとして取り組みましょう。一人ひとりがまちづくりの主役です。

### 透明性

事業のプロセス、結果などは可能な限り公開しましょう。分かりやすい情報の拡散が、地域の理解促進や新しい仲間の参画につながります。

※ただし、著作権や個人情報保護への配慮を怠ってはいけません。

